

平成23年度科学研究費補助金実績報告書  
(研究成果公开发表(B))

平成23年12月28日

文 部 科 学 大 臣 殿

課題番号	2	3	5	6	0	0	5
------	---	---	---	---	---	---	---

主催団体所在地	〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階		
主催団体名	公益社団法人	代表者職名	代表理事
	日本放射線技術学会	代表者氏名	真田 茂 印

シンポジウム・ 学術講演会名	平成23年度市民公開シンポジウム「肝臓がんの治療・診断・予防」 ー肝臓がんに罹らないためにー				
実施主体 (支部等)	公益社団法人 日本放射線技術学会 学術委員会	代表者職名	学術委員長		
		代表者氏名	石田 隆行		
開催日	平成23年12月10日(土)～平成23年12月10日(土) (1日間)				
会場名	メルパルク京都		開催地：京都市		
参加者数	118人		/		
(参加予定者数)	(200人)				
費目別収支決算表					
実支出額の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
	600,033円	175,820円	62,122円	111,110円	250,981円
交付申請書 に記載した 補助金の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
	600,000円	180,000円	55,000円	100,000円	265,000円

シンポジウム・学術 講演会の目的	日本の死因の大きな位置を占める肝臓がんの90%以上が肝細胞がんでその大部分がウイルス性肝炎で占められる。本シンポジウムでは、ウイルス性肝炎と肝細胞がんという病気を判りやすく解説した後、診断から治療、予防にいたるまでのプロセスに対して、それぞれ専門の立場から詳しく解説を行う。この疾患に対しての正しい知識と診断や治療法について市民に広報を行い、本疾病に対する市民の意識向上を目的とする。
シンポジウム・学術 講演会の概要	基調講演、4つの講演及び総合質疑応答から構成される。 基調講演では、肝臓の機能と役割及び肝細胞がんの発生機序と肝炎と関係を解説した。さらに最新の治療についても紹介した。講演1では、IVR診療の立場から、肝臓がんの診断及び治療の考え方と、実際の診療方法を解説した。講演2では、初期診療で使われる超音波検査について検査方法から診断に至るまでのプロセスを解説した。講演3では、精密検査に使われるMR検査について検査の特徴と検査の留意点を解説した。講演4では、管理栄養士の立場から肝臓機能を正常に維持管理して生活の質を向上させるための栄養指導と生活指導について解説した。 最後に総合質疑応答を設けた。

主催団体の 事務 連絡者	〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階 TEL:075-354-8989 所属・職名 事務局 事務局長 (内線なし) 氏名 宮高 睦 FAX:075-352-2556 E-mail: master@jsrt.or.jp
--------------------	--